弱溶剤2液高付着浸透形ハイブリッドエポキシシーラー

特許申請中

ファインパーフェクトシーラー™

両下地に対応!
無機
有機

現場にこれ1本あれば安心!
パーフェクトシリーズに高機能タイプシーラー登場!

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

■特長

①高意匠サイディングボード対応

これまで無機や光触媒の表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。
ファインパーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

②多用途

無機、有機ハイブリッド技術の特殊エポキシ樹脂により、従来のモルタル、コンクリート、木部、スレート屋根等にも幅広く対応します。

③浸透+高付着

下地に対して高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、高い付着力が発現します。

■用途

内外部壁面・スレート屋根面、新築・塗り替え塗装の下塗り
(内部に使用する場合は十分に換気を行ってください。)

■適用下地

高意匠サイディングボード、住宅用化粧スレート屋根、屋根用波形スレート、モルタル、コンクリート、PC板、押出成形セメント板、ブロック、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材、各種旧塗膜

■適用上塗り

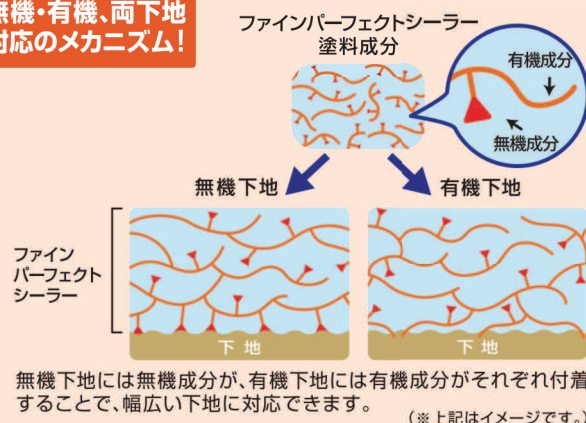
水性上塗り・弱溶剤上塗り塗料全般(パーフェクトトップ、ファインパーフェクトトップ)

■各素材での使用量目安

	はけ・ウールローラー エアレススプレー塗り
高意匠サイディングボード	0.05~0.08kg/㎡/回
けい酸カルシウム板	0.16~0.20kg/㎡/回
押出成形セメント板	0.06~0.10kg/㎡/回
コンクリート・モルタル	0.16~0.20kg/㎡/回
スレート屋根	0.15~0.30kg/㎡/回

★ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。
必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

無機・有機、両下地対応のメカニズム!

無機下地には無機成分が、有機下地には有機成分がそれぞれ付着することで、幅広い下地に対応できます。
(※上記はイメージです。)

無機系の表面処理が施された表面活性の高い高意匠サイディングボード

温冷繰返し試験(水浸漬/18時間→−20℃/3時間→50℃/3時間を1サイクル)を10サイクル実施後、JIS K 5600-5-6(クロスカット法)に準拠

当社従来品水性シーラー
+当社水性上塗り

ファインパーフェクトシーラー
+当社水性上塗り

ニッペ ファインパーフェクトシーラー

■塗装基準

◆ 希 釈 率：無希釈(少しでも希釈すると性能が低下します)
◆ 混 合 比：塗料液(主剤)：硬化剤＝ 5 ： 1
◆ 可使時間：6時間(気温23℃／室温85%以下)
◆ 使 用 量：前ページの各素材での使用量目安をご確認ください。
◆塗装方法：はけ・ウールローラー・エアレススプレー塗り
◆乾燥時間

	5℃～10℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	3時間	50分	30分
塗り重ね乾燥時間	8時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内

★上記の数値はすべて標準的数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・使用量・施工条件および測定方法により幅を生じ増減します。
★乾燥時間は目安です。使用量・通風・温度および素地の状態によって異なります。
★エポキシ樹脂のため、長時間直射日光に当てないでください。
　また、上塗りにクリヤー塗料の塗装は避けてください。
★高温下では硬化反応が著しく速まります。
　高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

■容量・荷姿

ニッペ ファインパーフェクトシーラー	15kgセット(塗料液／12.5kg 硬化剤／2.5kg) 6kgセット(塗料液／5kg 硬化剤／1kg)
	荷姿／石油缶・扁平缶　色相／淡褐色透明

■性能

JASS 18 M-201 反応形合成樹脂ワニス(2液形エポキシ樹脂ワニス)による

試験項目	規　格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格

■塗料性状

ポットライフ(23℃)		6時間
密度(g/㎤)(23℃)		0.91
引火点		46℃
発火点	塗料液	210℃(参考値)
	硬化剤	454℃(参考値)
有機溶剤区分		第3種

消防法表示	化学名	合成樹脂クリヤー塗料
	危険物区分	第4類第2石油類(非水溶性)
	危険等級	Ⅲ(火気厳禁)
有害物表示	塗料液	キシレン
	硬化剤	キシレン　変性脂肪族ポリアミン

■施工上の注意(詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

・被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
・使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
・吸い込みが少ない素地や下地の場合には、乾燥不良による縮みや膨れが起こる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにとってください。
・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
・さび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
・吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
・経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
・押出成形セメント板(アスロック、メースなど)におきまして、弱溶剤系シーラーとニッペリシンの組合せによる仕上げをする場合、シーラーの乾燥が不十分であると割れ、はく離などの問題が起こる場合があります。ニッペリシン仕上げの場合は、シーラーにニッペ一液浸透シーラー、ニッペ浸透性シーラー(新)をご使用ください。
・目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗装してください。
・目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
・目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
・上塗りにクリヤー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
・高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
・既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
・素地の乾燥は十分に行ってください。
・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。)
・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。
　また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
・笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
・クロスの上の塗装は避けてください。
・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
・可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
・上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペファインパーフェクトシーラー　塗料液

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
・容器を密閉してください。
・容器および受器を接地してください。
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
・火花を発生しない工具を使用してください。
・粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
・汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋／防毒マスクまたは防塵マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
・眼に入ったり皮膚に付いた場合、直ちに医師に連絡してください。
・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
・水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	最重要危険有害性及び影響／特定の危険有害性／飲み込むと有害のおそれ／吸入すると有害のおそれ／皮膚刺激／皮膚障害を起こす恐れがある 重篤な眼の損傷／吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難いを起こすおそれ／アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ 発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／臓器の障害(単回暴露)／長期または反復暴露による臓器の障害 水生生物に毒性(急性)／長期的影響により水生生物に毒性／燃えやすい液体である／蒸気が滞留すると爆発の恐れがある

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html　日本ペイント　建物　検索

日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2014年6月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

お問合せはこちら
NCC株式会社
〒399-4431
長野県伊那市西春近上島2431
TEL 0265-72-7161
FAX 0265-78-2796
E-mail info@ncc-gp.co.jp
伊那支店 ☎0265-72-7161
長野支店 ☎026-282-4566
松本支店 ☎0263-57-3030
上田支店 ☎0268-42-7575
諏訪支店 ☎0266-58-9400
www.ncc-nice.com　NCC　検索

AA140612T
2014年6月作成